



防災のつながりを深め広げよう！

- ・『西東京レスキューバード』は、2015年4月に、西東京市社会福祉協議会の「災害ボランティア養成講習会」修了生を中心に設立し、被災時の災害ボランティアセンター支援と日頃の防災活動を中心に活動を行ってきました。
- ・2019年度から2023年度まで、西東京市の「NPO等企画提案事業」にて実施してきた活動と、2024年2月4日に実施した「防災サミット」につき報告します。

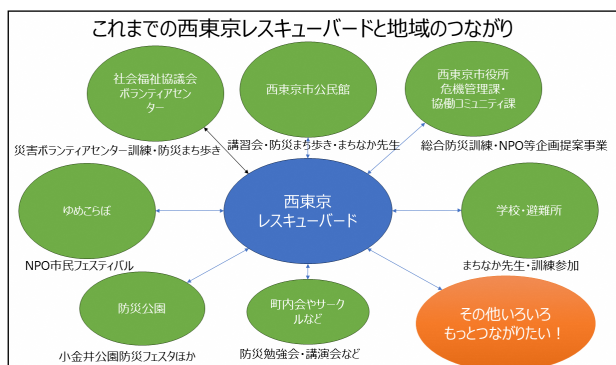
『防災サミット』2024年2月4日

- ・NPO等企画提案事業の最終年度の企画として、市内で活動する多くの団体・個人の方に参加頂き、『防災サミット』を開催しました。
- ・今後も、防災のつながりを深め・広げ、官民連携の場を模索して、継続していきます！。

企画意図

■NPO等企画提案事業では、初年度から、防災・減災について共に考え学ぶ場を設けること、市との協働を通じ防災・減災に関心を持つ市民や市内団体との地域ネットワークを作り、自助・共助の裾野を拡充していくことを目的に活動してきました。

■今回はその最終年度として、改めて関係させて頂いてきた官民の諸団体、特に市内4エリアの地域協力ネットワークや、災害時に支援を要する当事者・支援者団体、そして様々な活動をしておられる個人の皆さまに参加いただきました。



■今年度で一旦この事業は終わりとなりますが、今後も防災のつながりをさらに深め・広げる企画を立て、官民連携の場を模索して、継続していきます！

参加者の声①「今回のイベントの感想をお聞かせください」（抜粋）

- 今回の「防災サミット」に、様々な分野で活躍されている沢山の方々にご参加いただいたのは、レスキューバードの方々のこれまでの実績があるからこそだと思いました。コロナ禍の中止時期を経て約5年間、構想から企画・実施までNPO等企画提案事業で一緒にきて嬉しく思います。ありがとうございました。西東京市協働コミュニティ課/羽石明史
- 地域のつながりの大切さを感じた。BOSAIカフェ/久保多恵子
- 災害はいつ起きても不思議ではない事、再確認しました。具体的な備えを早急に進めることができるよう、行政や地域と連携をとっていきたい。富士町地域包括支援センター/前山倫
- 大変有意義なイベントでした。今日をスタートとして地域の安心・安全のため、出来ることを増やしていきたいと思います。くじら山/村山雄一

- 避難所運営協議会の方がこれだけ集まることはスゴイ。また、多様な役割・立場・個性の方々が集まっているのはスゴイ。災害協働サポート東京(CS-Tokyo)/福田信章
- 様々な方が地域のためにどのような形で活動されているのかを知ることができ、勉強になりました！交流の時間では、防災の今後の取り組みについて、皆さんの知恵から多くを学びました。ありがとうございました。西東京レスキューバードメンバー



2024.2.4『防災サミット』参加者の皆さんと記念撮影

「NPO等企画提案事業」とは？

■西東京市では、2004年度（平成16年度）から「NPO等企画提案事業」を開始しています。市民活動団体（これをNPO等と呼んでいます）から事業の企画提案を行い、市の審査により採用が決定されたうえで、市との協働により実施するものです（補助金の助成も受けられます）。

■西東京レスキューバードでは、2019年度に防災をテーマに応募し、市との協働を通じ、防災・減災に関心を持つ市民や市民団体との地域ネットワークを作り、自助・共助の裾野を拡充していくことをテーマに、3年度に亘って活動してきました。（活動内容は Page 4 ご参照）

目次

防災サミット 企画意図 参加者の声①	1
NPO等企画提案事業とは？	1
防災サミット 公的団体挨拶	2
ホームページ、 Youtube、Instagramのご紹介	2
参加者の声②	3
記念講演	3
NPO等企画提案事業での活動内容	4
西東京レスキューバードのご案内	4

各公的団体の皆様からのご挨拶（抜粋）

西東京市 生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課 和田 克弘 課長

西東京市では、市の総合計画や『市民と行政の協働に関する基本方針』のもと協働のまちづくりを進めており、その一環として「NPO等企画提案事業」を実施しています。今回の「防災サミット」は、「NPO等企画提案事業」の集大成として、西東京レスキューバードとの協働で実施しています。

昨年は、関東大震災から100年を迎えた年として、東京でははじめ防災に関する取組が多く行われてきたところですが、今年の元日に発生した能登半島地震の報道などをみて

西東京市 総務部 危機管理課 仲 誠広 課長

西東京レスキューバードの皆様には、日頃より地域の防災力向上にご尽力くださっており、総合防災訓練や学校で実施されているまちなか先生など本市で行う事業においても、折に触れてご協力を賜っている次第です。

昨年公表された「首都直下地震等による東京の被害想定」においては、マグニチュード7.3の多摩東部直下地震における本市の被害は、住家全壊被害が704棟、避難所で生活する避難者数が26,624人となっております。市では、この被害を軽減するため、事業を展開してまいります。

西東京市社会福祉協議会 福祉活動推進課 小口 浩司 課長

設立以降、本会で実施する災害ボランティアに関係する研修会や災害ボランティアセンター設置運営訓練等において、大変ご尽力をいただいております。先月も、本会職員全員を対象に実施した「災害ボランティアセンター設置運営訓練」において、本日講師をされる小野さんとともに協力いただきました。

能登半島地震において、メディアでも社会福祉協議会が設置する災害ボランティアセンターの取り組みを取り上げていただき、職員全員がメディアの情報や今回の訓練を通じてその役割の大きさを感じております。

西東京市市民協働推進センター ゆめこらぼ 樫出 浩雅 センター長

ゆめこらぼは、西東京市にたくさんある市民活動を支援するセンターです。ゆめこらぼには多彩な活動をしている市民活動団体、NPOが登録しており、その中にはもちろんまちづくりなどに関する活動団体もあり、本会の主催者である西東京レスキューバード様も登録して頂いております。

私の実家は新潟市にあり、年末に帰省をしておりました。元旦の地震により、災害にあった場合に備え、家具などの固定や避難場所の確認、ペットなどの対応なども含め、日頃か

も、東京に住む私たちにとって災害は決して他人事ではないと感じた方も多いかと思います。

今回の「防災サミット」では、防災に関する活動をしている方々のほか、自治会・町内会関係や福祉関係の方など、地域で活動している様々な方が参加されていると伺っています。このイベントをきっかけに、多くの団体や個人の方同士がつながり、いざというときに備えた防災に関するネットワークづくりや協働のまちづくりが進むことになれば嬉しいと思います。



そのためにも、自助・共助の底上げが大きな役割を担っており、市民の皆様のご協力が欠かせません。本日は市内でご活躍くださっている様々な分野の団体の皆様が参加くださっていると伺いしております。皆様のお知恵をお借りしながら、災害に強いまちづくりに繋げてまいりたいと考えております。

今後とも、「災害に強いまちづくり」のために、ご理解・ご協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。



災害ボランティアセンターが立ち上がった直後は、市内もしくは東京都内にお住まいの方々が中心となって復旧に向けて取り組まなければなりません。

常日頃、人と人とのつながることで、いざというときの支え合いにつながっていることが、これまでの他県における震災後の状況を見てもお分かりいただけるかと思います。本日のような機会に、是非近くの方々と顔見知りになっていただき、できれば日頃からボランティア活動にもご参加いただけるとありがたいです。



らしっかり準備し、把握しておくことの必要性を身に染みて感じた次第です。その意味でこの時期に開催される防災サミットは、とても重要なイベントとなることでしょう。災害はいつ起こるかわかりません。日頃から防災意識を高め、知識を蓄え準備をしておくことが本当に大切なのです。

今回の防災サミットが成功し、皆様にとって有益な機会となることを願って、挨拶とさせていただきます。



ホームページ <https://nishitokyo-rb.business.site/>



当会の活動内容や、イベント情報、防災関連のセミナー講師のお問い合わせはこちらからどうぞ。

新規入会も随時募集中です！



参加者の声②「ご自身の団体又は個人でわが街の防災の備えにどのような形で貢献できるかお聞かせ下さい」（抜粋）

■多文化、多様性など、いざとなった時に、市民みんなで支え合うスキームづくりなどなど黒子として動けます。柳沢/小松真弓

■グループホームを運営しておりますので、炊き出しのときなど駐車場を場所提供させていただきます。社会福祉法人ウーノ/後藤久美

■地域で最もたくさんの方が集う「どんど焼き」のイベントを活かし、地域を巻き込んで防災意識の醸成を図りたいです。芝久保町/柴田博史



ポリ袋クッキング

た。そういうことを考えながら深めていければと思います。西原町

■FM西東京で番組をもってありますので、それぞれの活動についてお知らせしていきたいです。FM西東京ウィークエンドボイス/青木紘子（ヘルメット隊長）

■市内2か所の事務所で避難村を開設します。近所の方を受け入れる予定です。NPO自立生活企画/益留俊樹

■障害児・者のいる家庭に防災意識を高めるよう学習会を行いたいと思います。ぶーけ/久松順子

■農園の野菜を使った炊き出し訓練、ビニールハウス内で段ボールベッドの宿泊体験、地域の声かけ訓練。向台農知園/下田将人

■災害時の応急活動にタクシー車両を利用する協定（西東京市）。情報交換が良かったと思います。三幸自動車株式会社/町田栄一郎

■福祉避難所（行政からの指導によります）として最高の貢献をしたいと思います。武蔵野徳州苑/田淵一郎

■班に聴覚障害の方が3人いらしてこちらからお聞きしたいことも聞いてみる事が出来ました。南部地域ネットワーク/大安紀子

■つながるスタートから広げることをもっと強力に進めていきたいと考えています。避難所運営協議会に中学生を取り込んでいけいか検討していきます。にしにshet・ひばり中避難所運営協議会/山田益巳



各班のテーブル



各班でカレーの試食「いただきます！」

■来場者と出展者、子育てを支援する団体同士、市の子育て関連部署、協賛して下さる地域の企業や団体とのつながりを、災害時の助け合いの基盤にすることができます。こそだてフェスタ@西東京実行委員会/高木恵子

■自宅で応急トイレを準備しよう。匿名

■常に最新情報の把握に努め、発信していくこと！『防災にはゴールはない』。向台町/島田秀秋

■公民館として、地域住民や様々な団体、自治会、商店街の方たちと協力して、何なできるんじゃないか、ぜひやりたいと強く思いました。誰しもが安心して暮らせるまち、防災に強いまちになるよう、やれることから前進あるのみですね。ひばりが丘公民館/小幡洋子

■今日からがスタートかなと感じています。「つながり」はスタートライン。自分の仕事（専門分野）やできることを、これからは非常時にどう生かせるか？という視点が増えまし



四地域ネットワークでエイエイオー

ジョージ防災研究所 代表 小野 修平さん 記念講演 能登半島地震現地支援の状況も交えての講演でした。

防災サミットでは、私たちとほぼ同時期の2015年1月から活動を開始された、ジョージ防災研究所の小野修平さんに記念講演をお願いしました。

今回は、元旦に発生した能登半島地震での現地支援の様子も交えてお話いただきました。私たちの街に、もし災害が発生した時、どのように考え、連携して対応していくべきか、ということを考えるにあたって参考となる大変貴重な経験や情報を提供いただきました。

参加された皆さんの感想：「現地の生々しい様子が胸が痛くなったが、小野さんの言われていたように「つながり」はスタートライン。自分のできることを非常時にどう生かせるかという視点が増えた」「日頃からの備えの大切さ、地域の関係性を考えさせられた」「とにかく地域に出て声をかけていく活動を続けていきたい」



<https://www.youtube.com/channel/UCwI623kDsLHb2PQuGLtdmEQ>

会の活動内容から話題の防災クッキング、私たちのおなじみのキャラクターおばあちゃんの動画など、災害の備えをわかりやすく動画で公開中

チャンネル登録 ▶



Instagram

<https://www.instagram.com/nishitokyo.rb/>

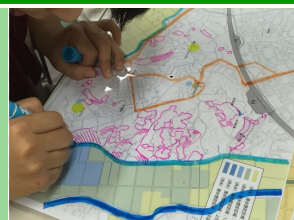
日常の中での防災の備えや身近なアイデアなどを発信中です。



■NPO等企画提案事業での活動内容

2019年度から2023年度まで、途中2年間のスキップを挟みましたが、多くの団体や市民の皆さんと交流を深めることが出来ました。今後の広がりも期待でき、関係された多くの皆さんに感謝を申し上げます。

NPO等企画提案事業で実施した内容	
2019年度	初年度：身近な防災から避難所まで 8月 my減災マップ主催 60名 (我が家の周りの防災マップを各自で作持ち帰れる「my減災マップ」(注1)のイベントを実施) 10月 西東京市総合防災訓練、広報誌作成 (ブース参加予定、残念ながら台風接近により中止、広報誌を以降のイベントで配布) 1月 避難所あるある講習会主催 69名 (JVOAD(注2)を講師に招き、避難所でよくある出来事を学ぶイベントを実施) (注1：my減災マップは、減災アトリエの商標登録です) (注2：JVOAD：全国災害ボランティア支援団体ネットワークの略)
2020年度	<コロナ禍でスキップ>
2021年度	<コロナ禍でスキップ> 防災まち歩きで展示した段ボールジオラマ
2022年度	2年目：コロナ禍でも繋がるWebイベント 6月 防災まち歩き/富士町・田柄用水(事前学習)現地23人、Web8名 (まち歩きは猛暑のため順延) 10月 防災まち歩き/富士町・田柄用水(まち歩き)現地30名、Web8名 10月 西東京市総合防災訓練ブース参加、広報誌作成配布 (都立東伏見公園で初のブース参加、当日広報誌を来場者に配布) 11月 防災まち歩き/下保谷・白子川(事前学習)現地15名、Web10名 // (まち歩き)現地21名、Web5名
2023年度	3年目：これからのつながりを目指して 6月 防災まち歩き/田無用水 現地35名 Web10名 (青梅街道と田無用水の歴史を学び、歩くプログラム、雨天のため会場での学習のみに) ※東京都生協連、社協と共催で11月にリベンジ実施 10月 西東京市総合防災訓練ブース参加 (文理台公園で社協と隣り合わせのブース設置、前年度作成広報誌を継続配布) 2月 防災サミット 74名 (防災に関する市内のネットワークづくりを目的に実施) ※Web：オンラインでの参加を可能にしたイベント



my減災マップ



避難所あるある



下保谷四丁目特別緑地保全地区(旧高橋家屋敷林) も見学



講師滝島さん



ポリ袋クッキングでカレーを提供



西東京レスキューバードのご案内

■西東京レスキューバードは、いざというときに、活動できるメンバーで「災害ボランティアセンター」の支援を行います。

■一方、普段は各種イベントで身近な防災知識のPRや学習会などの活動をしています。原則として市内在住・在勤・在学で私たちの活動に賛同いただける方ならどなたでも参加できます。

■あなたもメンバーに加わって、楽しみながら日頃の備えを見直し、活動に参加して交流を深めていきませんか？

活動目的：

- 1) 災害発生時の被災者支援活動
市内に設置される災害ボランティアセンターの支援
- 2) 平時の防災活動・地域協力活動
防災活動(災害の想定と準備)
地域とのつながりを作る活動

定例会：

毎月第二土曜日13：30～15：30

今後の活動テーマ：

次の3点をテーマに活動していきます。

『学び』Study

『交流』Diversity

『実践』Action

郵送先：

〒188-0012 西東京市南町5-6-8
イングビル1F ゆめこらぼ団体連絡箱
西東京レスキューバード

連絡先：

代表： 荘(しょう) 雄一郎
yuichiro.sho@gmail.com
連絡係：立元(たちもと) 博史
touchmoto2@gmail.com

ホームページ：

<https://nishitokyo-rb.business.site/>



グループ名は、設立時にメンバーの投票で決定しました。シンボルマークは、救急箱を下げたツバメがモチーフです。